

平成20年度水道事業会計 決算の概要

水道ビジョンに基づき 効率的な施設の整備を推進

平成20年度水道事業会計決算が9月市議会において認定されました。この決算の概要についてお知らせします=左下円グラフ参照。問合せは水道局財務グループ(0798・32・2211)へ。

決算の概要

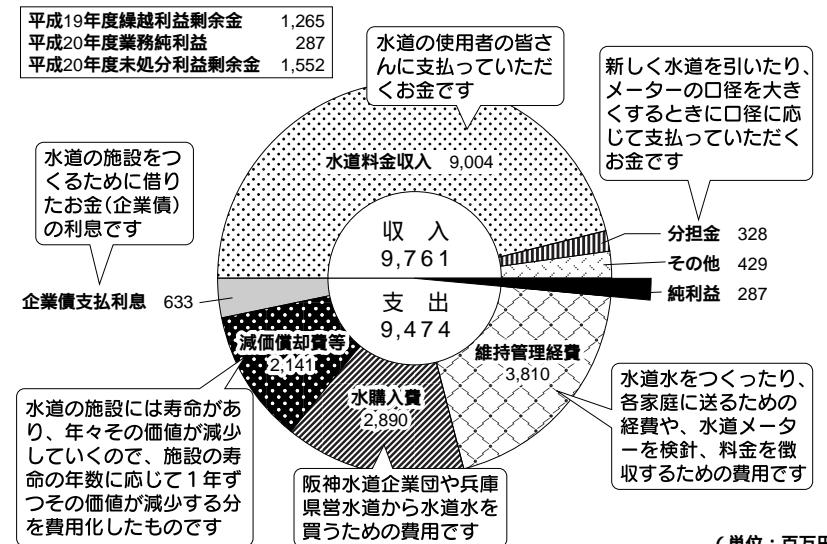
平成20年度末の給水人口は47万9060人で、前年度より2865人(0.6%)増えています。また、給水戸数も21万8841戸で、前年度より1378戸(0.6%)増加しました。これに対し、年間の給水量は5344万2054立方メートルで、前年度より107万4544立方メートル(2.0%)減少しました。これは、事業所や公共施設において経費削減のために水の再利用が進んでいることや、一般家庭などにおいて節水意識が定着していることに加え、急激な景気の後退による影響も要因と考えられます。

水道料金収入は減少

20年度の収入は、水道料金収入の減少などにより、前年度に比べて2億2800万円の減収

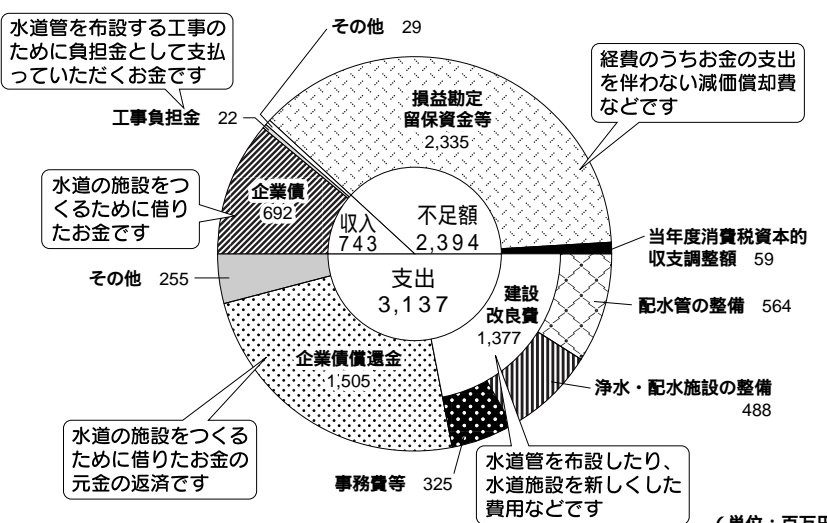
平成20年度決算の状況

収益的収支 水道料金収入や、水道水をつくり、各家庭に送るための経費を中心とした収支です。



(単位: 百万円)

資本的収支 老朽化した水道施設を整備したり、新たに水道施設をつくるなど投資的事業の経費を中心とした収支です。収支の不足額は、損益勘定留保資金などで補っています。



(単位: 百万円)

※収益的収支は消費税および地方消費税を含まず、資本的収支は消費税および地方消費税を含みます

な課題となっています。このような課題に対し、本市水道事業の将来像とその実現に向けた取り組みを示す「西宮市水道ビジョン」では、阪神水道企業団から購入する高度浄水処理水の受水を増量することで、今後、市内の浄水場を南部地域の鳴尾浄水場と北部地域の丸山浄水場の2つに統廃合していくこととしています。

今後の取り組み

本市の水道施設は昭和30年代から40年代に建設されたものが大半であり、まもなく更新時期を迎えます。給水戸数・給水人口の増加に比例した水道料金収入の伸びが期待できない状況の中、効率的な施設の整備が重要

職員を装った訪問販売・電話勧誘に注意

不審に思った場合 受付センターなどへ

最近、水道局の職員や水道局から委託されている業者を装った強引な訪問販売や電話勧誘が多発しています。水道局では、①家庭を訪問して水質・水圧検査、水道管の清掃を行い、料金を請求したり、②浄水器、磁気活水器などを販売するなどは一切行っておりませんので十分ご注意ください。

事例紹介

●腕章や名札を着用したり、チラシを用意し、「水道局の方から来ました」「水道局から依頼されています」などと言って、家庭を訪問する

水道局からお知らせ

水道・下水道の基本料金の免除制度

上・下水道の基本料金を免除する制度があります。対象や申請窓口は次のとおりです。問合せは水道局電話受付センター(左下囲み記事参照)へ。

◎身体障害者手帳1・2級療育手帳Aを持っている人が在宅している家庭、または療育手帳B・1と身体障害者手帳3級の両方を持っている人が在宅している家庭... ◎家族介護慰労金を受給している家庭...

水道局 電話受付センター 0798・32・2201 0797・61・1703 078・904・2481

水道局からのお知らせ... 水道工事費の貸付・助成... 斑状歯の検診・治療の受付

年に一度は、健診(人間ドック)を! 平日及び日曜日に午前9時から半日程度で健診を受けられます。西宮市医師会診療所(西宮健康開発センター内)